

# 8月30日（月） 知事会見

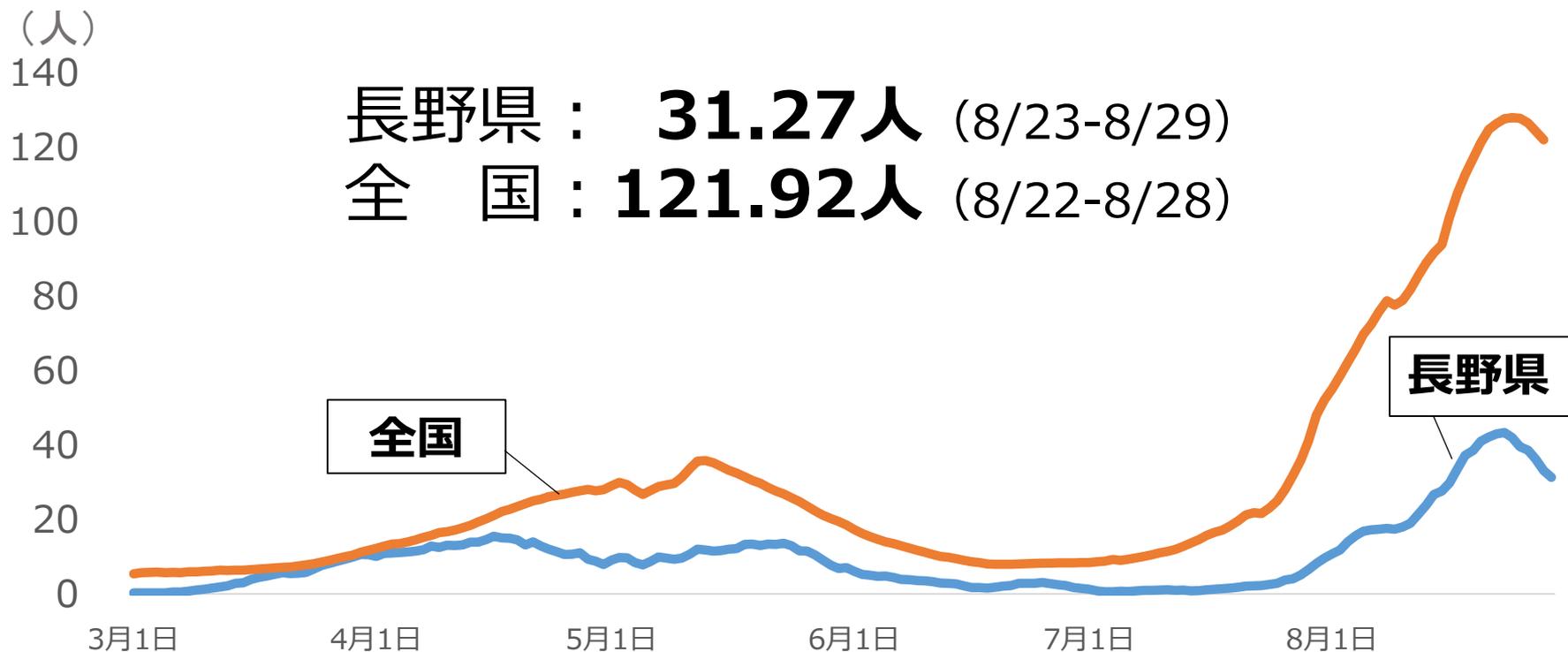
- 1 「命と暮らしを救う集中対策期間」の設定
- 2 時短等要請の延長
- 3 予算の専決処分

## 1 「命と暮らしを救う集中対策期間」の設定

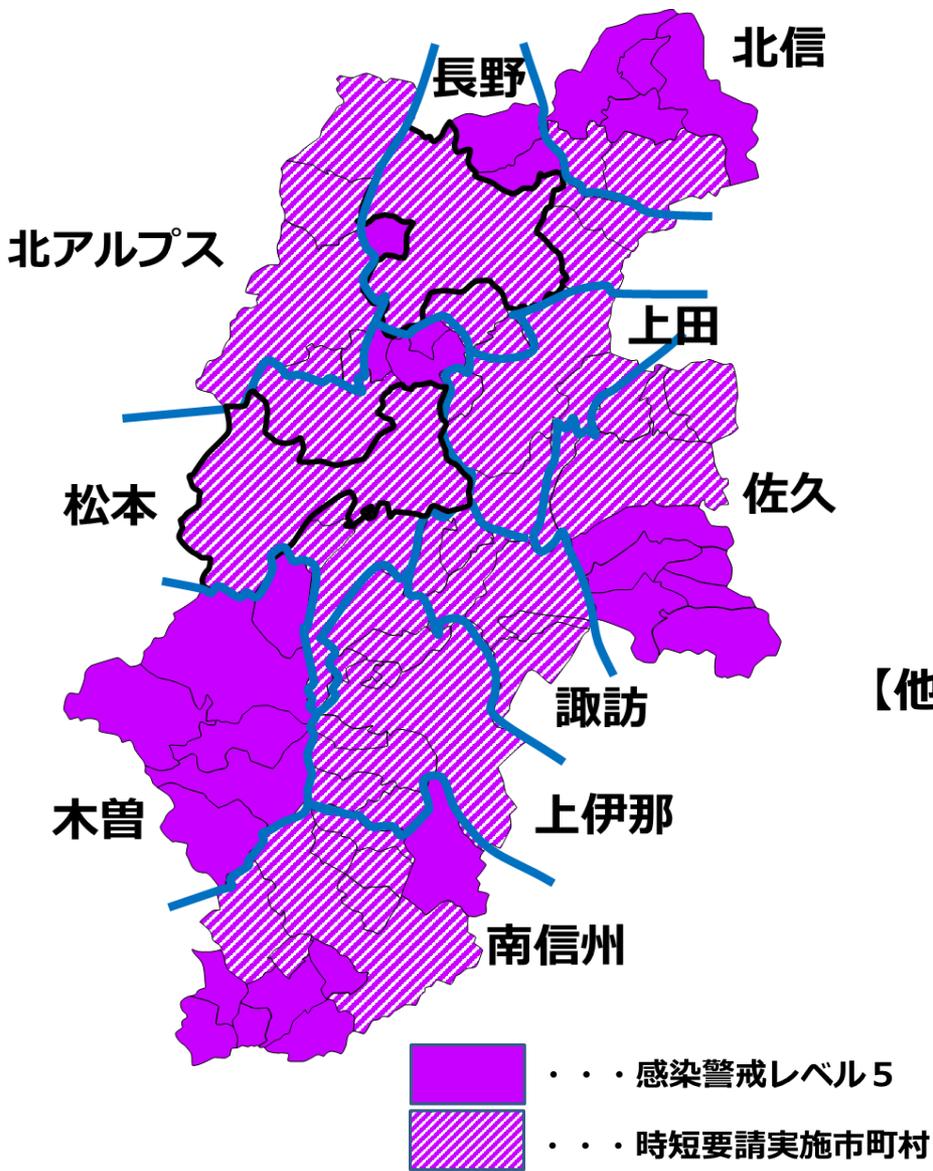
## 2 時短等要請の延長

## 3 予算の専決処分

- 県内の1週間あたり新規陽性者数はここ数日減少の兆しを見せているが、依然高い水準で推移
- 全国の感染の状況も引き続き予断を許さない



# 圏域ごとの感染状況等



圏域	感染警戒レベル	直近1週間の新規陽性者数(人)	(人口10万人あたり)(人)
佐久圏域	5	67	(33)
上田圏域	5	54	(28)
諏訪圏域	5	38	(20)
上伊那圏域	5	53	(29)
南信州圏域	5	31	(20)
木曽圏域	5	0	(0)
松本圏域	5	225	(53)
北アルプス圏域	5	27	(48)
長野圏域	5	140	(26)
北信圏域	5	6	(7)

※直近1週間の新規陽性者数及び人口10万人あたりは令和3年8月23日～29日の値（届け出受理日による）

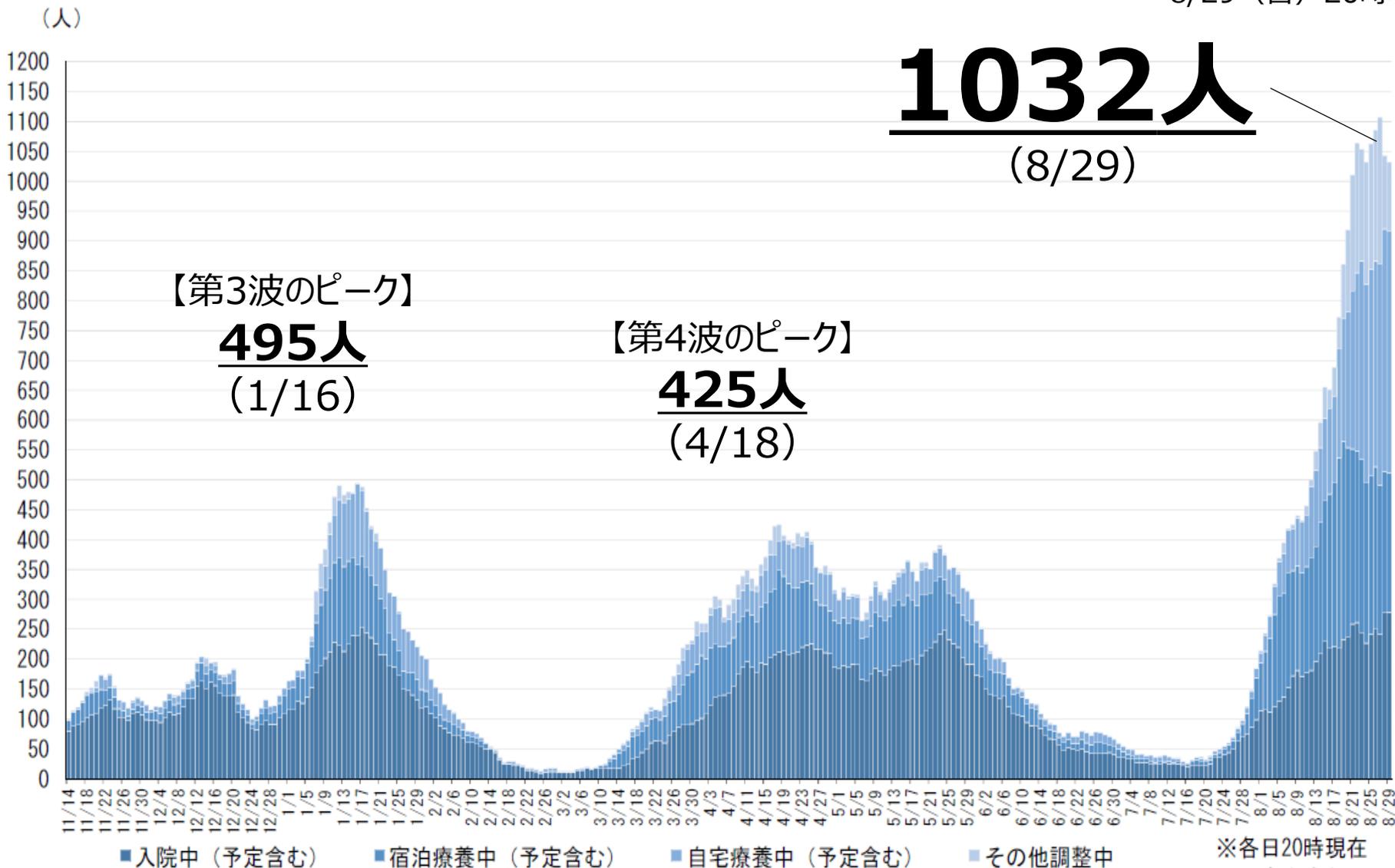
## 【他都道府県の状況】

\* 8/29公表分

都道府県	直近1週間の新規陽性者数(人)	(人口10万人あたり)(人)
北海道	3,116	(60)
東京都	26,488	(188)
岐阜県	2,244	(113)
静岡県	3,794	(104)
愛知県	12,255	(162)
大阪府	17,408	(197)
沖縄県	4,446	(303)
長野県	678	(33)

# 療養者数の推移

8/29 (日) 20時現在



療養者数の推移 (令和2年11月中旬～)

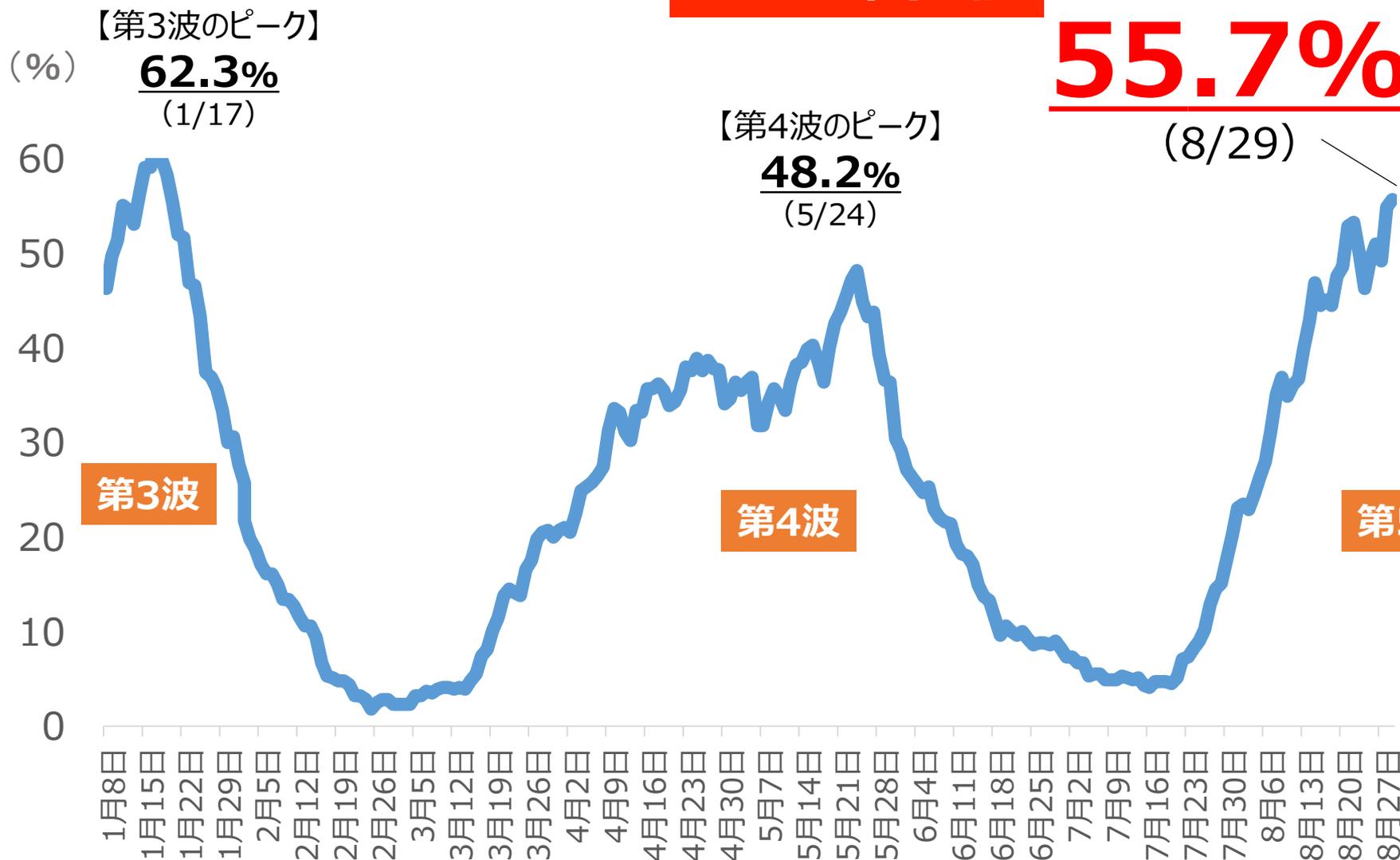
# 確保病床使用率の推移

8/29 (日) 20時現在

**第5波最高値**

**55.7%**

(8/29)



確保病床使用率の推移 (R3.1月～)

# モニタリング指標の状況



しあわせ信州

8/30 (月) 現在

モニタリング指標	8/29現在 (8/23~8/29)	国のステージの区分・指標 上段：ステージⅢ 下段：ステージⅣ
<b>入院者／受入可能病床数の割合 (%)</b> <b>(確保病床使用率)</b>	8月29日 <b>55.7%</b>	確保病床の使用率 20%以上
	273/490床	<b>確保病床の使用率 50%以上</b>
入院率 (入院者数/療養者数)	<b>26.5%</b>	<b>40%以下</b>
	273/1032人	25%以下
重症者／受入可能病床数の割合 (%)	8月29日 17.1%	確保病床の使用率 20%以上
	6/35床	確保病床の使用率 50%以上
<b>人口10万人当たりの療養者数</b> (療養者数)	8月29日 <b>50.35人</b>	20人以上
	(1032人)	<b>30人以上</b>
PCR検査陽性率 (LAMP法による検査を含む)	8月22日~8月28日 (調査中)	5%以上
		10%以上
<b>直近1週間の 人口10万人当たりの新規陽性者数</b> (直近1週間の新規陽性者数)	8月23日~8月29日 <b>31.27人</b>	15人以上
	(641人)	<b>25人以上</b>
前週との比較 (倍)	0.73	—
直近1週間の感染経路不明者の割合(%) (調査中を除く)	8月29日	50%以上
	34.3%	50%以上

# 感染拡大を徹底的に食い止める

全県「特別警報Ⅱ」を9/12まで延長するとともに、

命と暮らしを救う

**集中対策期間**

9/3（金）～9/12（日）

を設定して対策を強化

## 考えられる感染経路（8/23～8/29）

8/30（月）現在

	全県	
	人数	割合※
県外	54	9.7%
同居者間	197	35.4%
知人・親族	30	5.4%
職場	47	8.4%
学校・幼稚園・児童福祉施設	18	3.2%
飲食関連	20	3.6%
不明	191	34.3%
調査中	84	—
計	641	—

※調査中を母数から除く

## ○県外

県外の実家に帰省。帰省中、友人知人と会食した（飲食店、B B Qなど）。長野県内に戻った後、体調不良となり感染が判明

## ○同居家族・別居親族内で感染

お盆、夏休み中、親族複数名で集まり会食をし、同席した複数名が感染

## ○友人・知人間で感染

知人と一緒にスポーツ・レジャーに行った（ゴルフ、バレー、バスケット、ボーリングなど様々）。運動中はマスクを外していることから、休憩や移動時などにもマスクなしで会話することがあった。スポーツ後、一緒に飲食した。

## ○職場内で感染

- ・ミーティングルームや事務所等の換気が不十分だった
- ・喫煙所を一緒に利用することが多かった

## ○子どもの感染（学校など）

部活で県外へ遠征した際、移動のバス、寝食を共にしていた生徒などが複数感染

# 基本理念

県内の最近の感染事例（県外往来、学校・部活（スポーツ）、会食、職場・家庭等）を踏まえ、  
一部の事業者にも過度に負担をかけるのではなく、  
社会全体で少しずつ負担を分かち合い、  
県民の皆様力を広く結集して危機を乗り越えていく

どうかご理解とご協力を賜りますよう  
お願い申し上げます

期間中は、特に次の行動にご協力ください

- ① 大人数の集まりや人混みを避け、人と会う機会を普段の半分以下に。
- ② 自宅等も含め、茶飲み話や普段会わない人との会食をしない。
- ③ 県境をまたいだ移動（旅行、帰省、出張など）を取りやめる。
- ④ 会話の際はマスクを着用し、室内・車内の換気を徹底する。
- ⑤ 体調が悪い時には、すぐに医療機関に相談する。
- ⑥ ワクチンの接種について検討し、接種後も感染対策を徹底する。

- ◆ 公共施設の休止等
- ◆ イベントの中止又は延期の要請強化
- ◆ 旅行者への対応
- ◆ スポーツ活動における対策の徹底
- ◆ 学校・保育所等における対策の徹底
- ◆ 職場や家庭等における対策の徹底

- ◆ デルタ株と闘う県民共同宣言に基づく活動の拡大と浸透
- ◆ 徹底した広報
- ◆ 市町村への協力依頼

# (参考) 期間中の対策とまん延防止等重点措置との比較 (イメージ)



項目	長野県の対策	強弱	まん延防止等重点措置
外出	制限なし	<	<b>不要不急の外出自粛</b>
人との接触機会	半減	=	半減
飲食店	酒類提供禁止せず	<	<b>酒類提供終日禁止</b>
	(感染拡大が顕著な地域に限り) 酒類提供店のみ20時までの時短要請 (認証店は例外可)	<	<b>20時までの時短要請 (感染下降時のみ認証店は例外可)</b>
飲食店以外の商業施設等	要請せず	<	<b>20時までの時短要請</b>
イベント	<b>できるだけ中止又は延期</b>	>	5,000人以下で、大声歓声あるものは50%以内、大声歓声ないものは100%以内
学校での対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立学校はできるだけオンライン活用、部活は原則中止</li> <li>・市町村立学校等へも同様の取組みの検討依頼</li> <li>・大学にもできるだけオンライン活用を依頼</li> </ul>	=	部活動や課外活動における感染リスクの高い活動の制限又は自粛
県立公共施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>原則休止</b></li> <li>・<b>市町村にも同様の対応の検討依頼</b></li> </ul>	>	民間施設への要請内容に準拠
県外からの旅行	<b>宿泊延期割で延期の検討を依頼</b>	>	-

1 「命と暮らしを救う集中対策期間」の設定

**2 時短等要請の延長**

3 予算の専決処分

## 佐久・上田圏域

要請期間を 9/8 (水) まで 延長

\* 対象市町村は現要請から変更なし

## 南信州圏域

飯田市のみ、

要請期間を 9/8 (水) まで 延長

\* 以下の市町村への要請は9/1 (水) で終了

松川町、高森町、阿智村、下條村、喬木村、豊丘村

## 1 「命と暮らしを救う集中対策期間」の設定

## 2 時短等要請の延長

## 3 予算の専決処分

医療非常事態宣言及び全県への特別警報Ⅱの発出、「集中対策期間」の設定を踏まえ、対策強化に必要な予算を専決処分（8/30）

## 一般会計

# 112億5511万7千円

＜補正後の額 1兆882億9,995万6千円＞

① 新型コロナ中小企業者等特別応援金（第2弾）	29億4,129万円
② 新型コロナウイルス軽症者等受入施設等確保事業	10億5,443万9千円
③ 抗原簡易キットを活用した陽性者の早期発見促進事業	1億6,423万8千円
④ 新型コロナウイルス拡大防止協力金	57億6,722万円
⑤ 特別警報Ⅱ発出市町村等事業者支援交付金	12億8,795万円
⑥ 学生向け緊急食料配布事業	1,998万円
⑦ イベント延期・中止事業者緊急支援事業	2,000万円